

科目名 (科目番号)	理学療法セミナーⅡ (062172)	教員名	理学療法学科 全教員	学科等	理学療法	必須	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				オフィスアワー		火～木	8:00～9:00 A308	
授業概要	理学療法臨床で必要となる実践力および総合的な判断力を養うことがこのセミナーの目的です。前期は演習形式にて授業をすすめます。コミュニケーション能力や基礎的な検査・測定技術はもとより中枢神経障害、骨・関節障害、内部障害など、これまで培った専門的知識や技術を臨床現場で発揮するための準備としてこの時間を利用して下さい。後期には客観的臨床能力試験(OSCE)の形式にて、これまでの学習が実践的な能力としてどれほど身についたかを評価します。この授業ではOSCEを利用して実践力を培うのとは別に、国家試験問題を材料とした解剖学、生理学、運動学の知識の確認も課題とします。臨床実習に向けた基礎知識の整理の機会として下さい。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション	到達目標:OSCEを通して学ぶことのできる技能について理解する。 学習目標:客観的臨床能力試験(OSCE)の歴史的背景や目的、意義について学ぶ。					
	2	医療面談	到達目標:コミュニケーションをとる際に気をつけなければならないことを理解する。 学習目標:患者さんから情報収集したり、全身状態を把握する方法を学ぶ。					
	3	評価・測定	到達目標:検査・測定の実践力を身につけるための方法を学び準備を開始して下さい。 学習目標:患者さんの症状に応じて検査・測定ができるためには何が必要かを理解する。					
	4	中枢神経障害	到達目標:患者さんの症状に応じた対応ができるように準備を開始して下さい。 学習目標:中枢神経障害の評価・治療の実践力を身につけるために何が必要かを理解する。					
	5	骨・関節障害	到達目標:患者さんの症状に応じた対応ができるように準備を開始して下さい。 学習目標:骨・関節障害の評価・治療の実践力を身につけるために何が必要かを理解する。					
	6	内部障害	到達目標:患者さんの症状に応じた対応ができるように準備を開始して下さい。 学習目標:内部障害の評価・治療の実践力を身につけるために何が必要かを理解する。					
	7	試験	疾患別OSCE(1)・口頭試問と実技試験					
	8	試験	疾患別OSCE(2)・口頭試問と実技試験					
	9	試験	疾患別OSCE(3)・口頭試問と実技試験					
	10	試験	疾患別OSCE(4)・口頭試問と実技試験					
	11	フィードバック	到達目標:自分の弱点を把握し、今後の対応策を見つける。 学習目標:OSCEに対する講評・総評、到達度チェックと臨床実習に向けたアドバイス。					
	12	解剖学・生理学・運動学 基礎知識の確認と演習	国家試験問題を題材としたグループ学習(1)					
	13	解剖学・生理学・運動学 基礎知識の確認と演習	国家試験問題を題材としたグループ学習(2)					
	14	解剖学・生理学・運動学 基礎知識の確認と演習	国家試験問題を題材としたグループ学習(3)					
15	解剖学・生理学・運動学 基礎知識の確認と演習	国家試験問題を題材としたグループ学習(4)						
成績評価の方法・基準	後期に実施する4回(予定)のテストの合計点にて評価します。 本試験では各ステーションのOSCEで60%以上の点数をもって合格とします。							
教科書	用いない (授業でプリント教材や問題集を配布する)							
参考図書	PT・OTのための臨床技能とOSCE ①コミュニケーションと介助・検査測定 編 ②機能障害・能力低下への介入編			才藤 栄一 (監修)		金原出版		
教員からのメッセージ	とくに実技に関して、毎年のように誤解あるいは思い込みにより間違っただ内容を学生同士で教え合う場面を見受けます。学習や練習の際に生じた疑問点は必ず担当教員に逐次質問して確認するようにして下さい。後期は複数回に分けて実技試験を行います。授業の日は不定期になりますから、オリエンテーションの際の説明をよく聞いてください。							